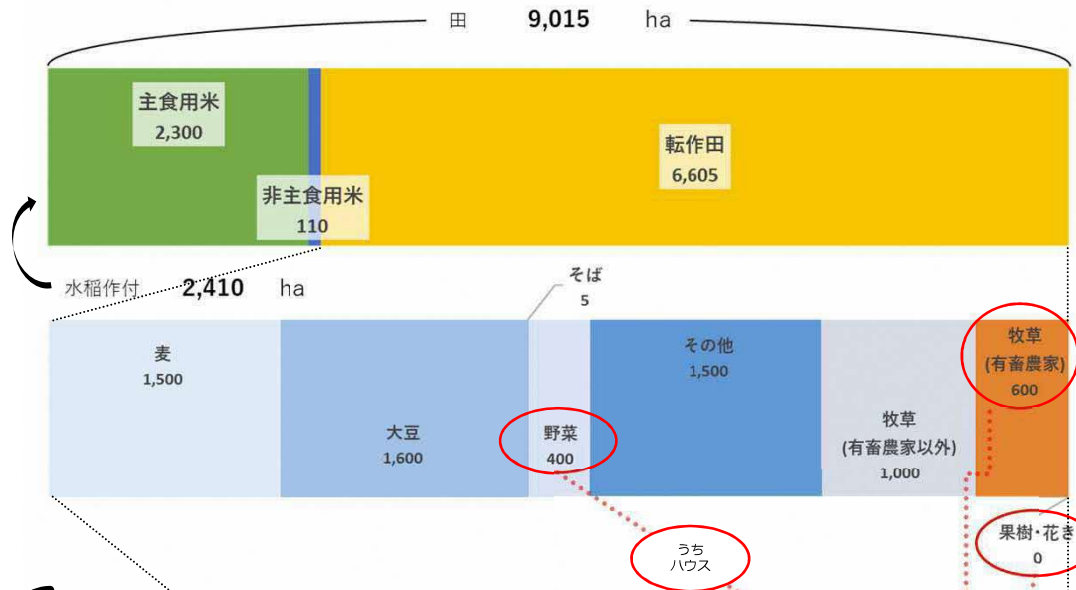
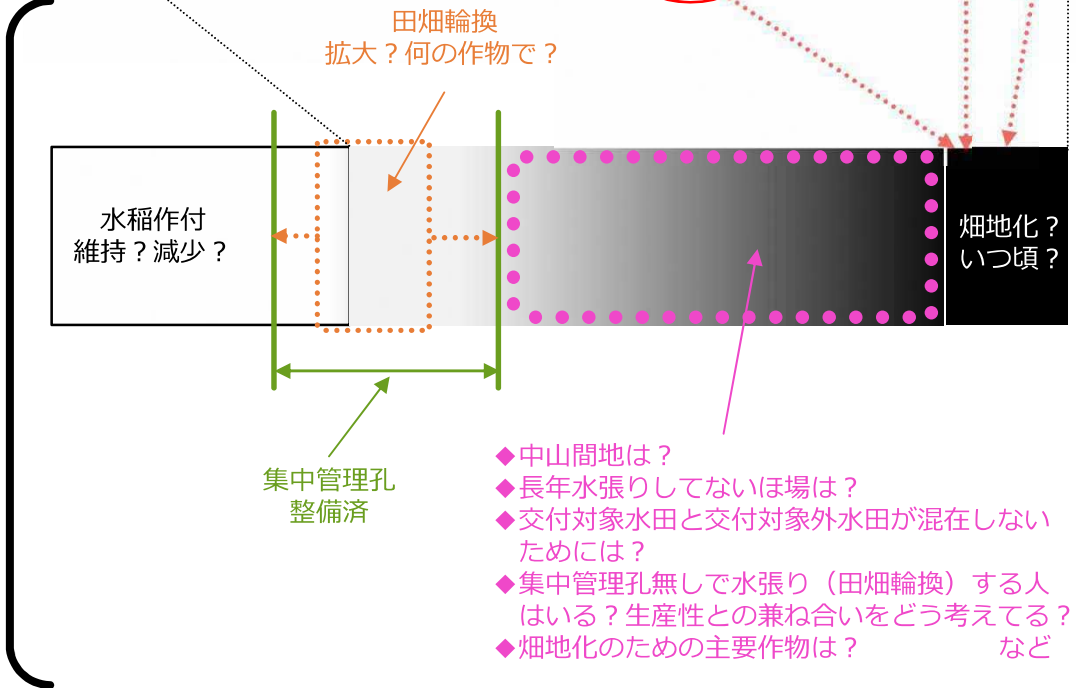


◆ 地域協議会における検討状況の把握イメージ

R3 現況



5年後の姿



各振興局で把握して欲しい事項

- ① 地域の検討体制
- ② 見直し内容・制度等の周知状況
- ③ 作付現況の把握・分析
- ④ 5年後の作付見通し
- ⑤ 産地形成に向けた検討状況
- ⑥ 今後のスケジュール感
- ⑦ 今後の産地形成に向けた課題・要望

地域の検討が進んでいない場合は、検討を促す、一緒に考える

今後の産地形成に向けた地域再生協の検討状況

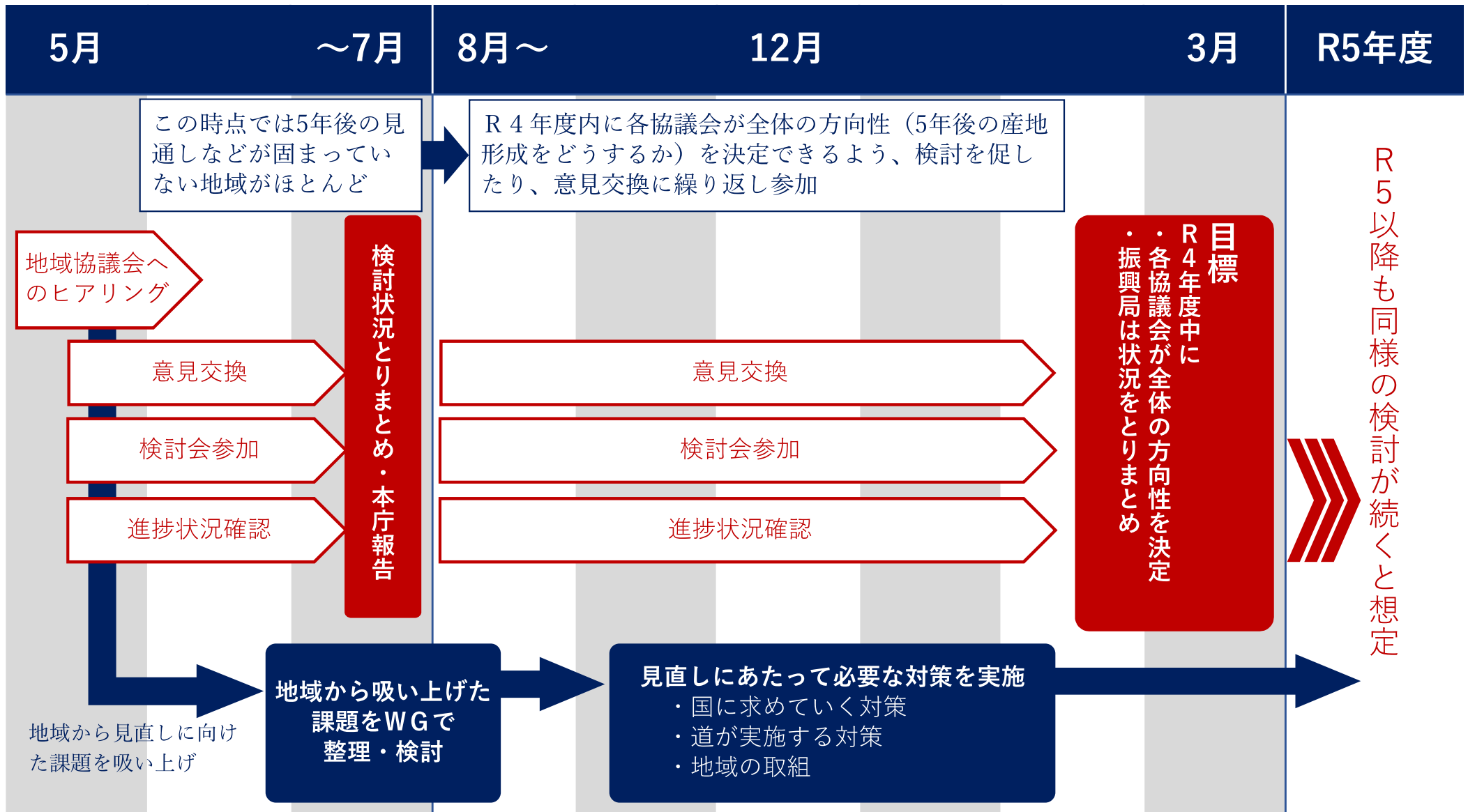
(※ 今後5年間で検討になるが、情勢変化に機敏に対応するため、R4年度中に大枠を検討)

地域協議会名 : _____

項目	内容
<p>①地域の検討体制</p>	<p>【記載例①】</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">地域再生協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇町産業課 ・JA〇〇 ・〇〇町農業委員会 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">←</div> <div style="text-align: center; margin: 0;"> <p>検討への 参加・助言</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇普及センター■支所 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇振興局農務課 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇地区土地改良区 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※地域協議会で検討するが、必要に応じて農務課や普及センターが参加もしくは助言する</p> <p>【記載例②】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">〇〇町産地形成検討会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">地域再生協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇町産業課 ・JA〇〇 ・〇〇町農業委員会 </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇普及センター■支所 ・〇〇振興局農務課 ・〇〇地区土地改良区 </div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※地域の検討会に振興局農務課等がメンバーとして参画</p>
<p>②見直し内容・制度等の周知状況</p>	<p>農業者向け説明会の開催実績をふまえ、見直し内容を農業者は理解しているか。理解しているのであれば、どのような情報を知りたいのか（畑地化支援事業の取り組み方）。</p> <p>（農業者向け説明会を開催してないのであれば、いつどのような方法で周知し、理解を得るのか）</p>
<p>③作付現況の把握・分析</p>	<p>作付概況（R3年産）を把握し分析する。</p> <p>【記載例】</p> <p>全耕地面積は18,000haで、そのうち交付対象水田は9,015ha。交付対象水田のうち、水稲作付は2,410ha（主食用2,300ha、非主食用110ha）、転作田6,605haとなっている。</p> <p>転作田の内訳は麦1,500haや大豆1,600ha、野菜400ha、そば5ha、有畜農家以外による牧草1,000ha、有畜農家による牧草600ha、果樹・花きはゼロ、その他1,500ha。その他は主に地力増進作物600ha、てんさいが500haとなっている。</p> <p>交付対象水田のうち、水稲の作付は27%、転作田が73%となっており、転作田73%のうち土地利用型作物の麦・大豆・てんさいが40%、高収</p>

	<p>益作物の野菜は4%、牧草が18%（うち有畜農家7%）、その他が11%となっている。</p>
④5年後の作付見通し	<p>R3年産の作付概況の分析（R4年産の作付計画の把握・分析）、農家の経営意向を踏まえ、5年後の作付見通しを検討。</p> <p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆畑地化する可能性の高いほ場は2,600ha、田全体の29% （有畜農家の牧草600ha、有畜農家以外の牧草1,000haのうち900ha、野菜ハウスが100ha、中山間地1,000ha） ◆主食用米は需要トレンドより160ha程度の減を見込んでいるが、輸出用米への転換を進め、水稻全体の面積は微減の2,400ha、27% ◆田畑輪換の実施面積は現時点で約500ha、集中管理孔整備済面積の800ha、田全体の9%まで拡大を推進
⑤産地形成に向けた検討状況	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆農家の経営意向の把握を実施中。 ◆中山間地については、畑地化した後、耕作放棄地となる懸念が大きい ため、中山間地に対する各種支援制度を活用した取組を検討中。 ◆有畜農家以外の牧草については、地域内の畜産農家と、価格・品質・ 利用形態等を意見交換し、畑地化後も持続的な取組が可能か検討中。 ◆畑地化により地域内の水利用に支障が出ないよう（交付対象水田と交 付対象外水田が混在しないよう）、農家の意向確認の上、地域再生協 が調整する体制を検討中。 ◆輸出用米への転換に向けて、ホクレン等と調整中。 ◆田畑輪換の輪作作物は、麦・大豆・子実用とうもろこしを推進。
⑥今後のスケジュール感	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆R5.3には今後の産地の将来像を決定 （水稻：○割、転作田：○割（うち○○が○割、○○が○割……）、 畑地化：○割） ◆畑地化についてはR4に検討、R5に畑地化支援を活用する予定
⑦今後の産地形成の検討に向けた課題・要望	

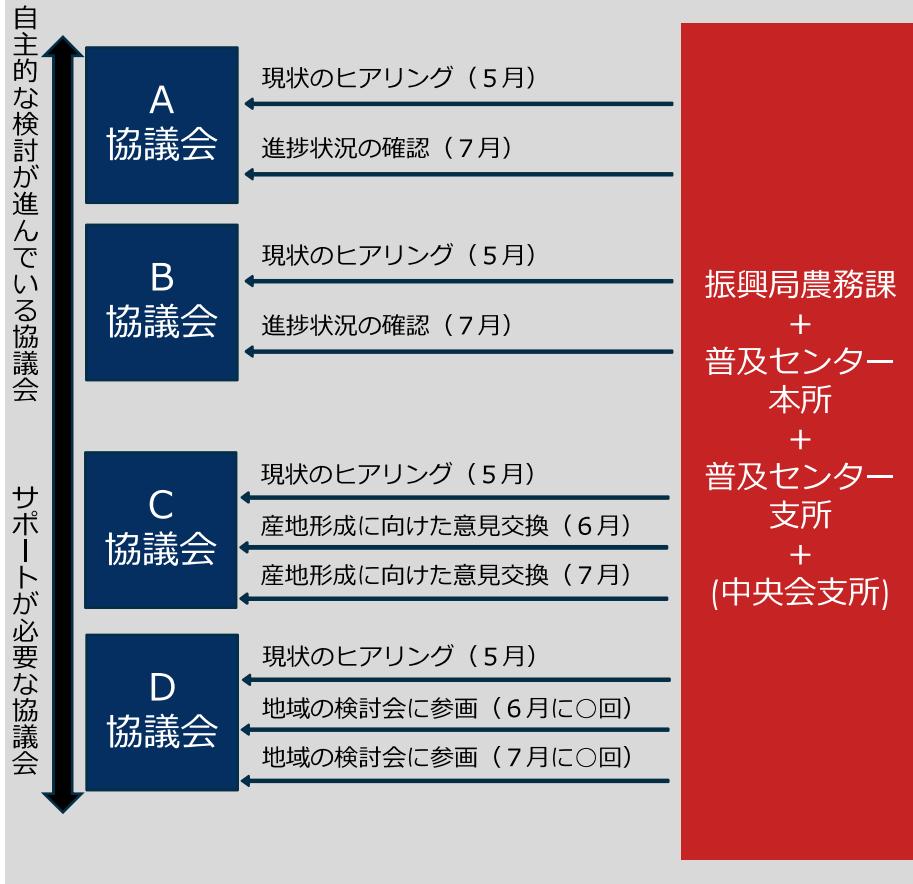
◆ 地域協議会の検討状況把握のスケジュール感



◆ 地域協議会における検討状況の把握に関する振興局の体制イメージ

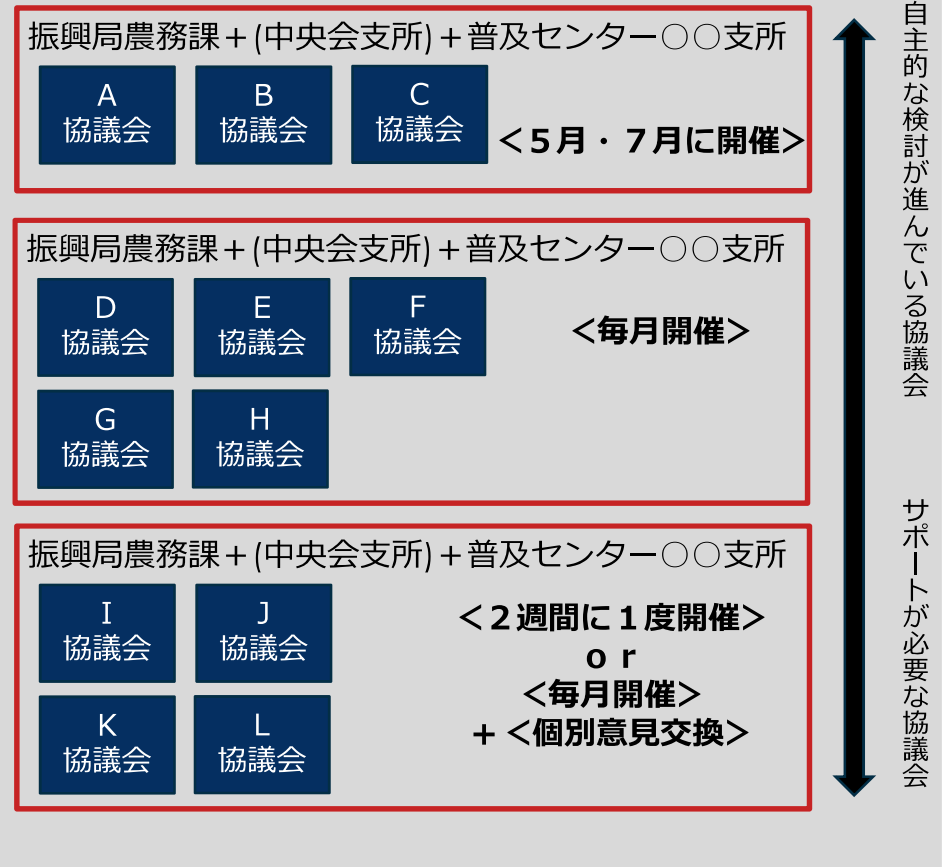
例1 協議会数が少ない場合

【協議会ごとに個別ヒアリング・意見交換】



例2 協議会数が多い場合

【普及センター支所単位で合同ヒアリング・意見交換】



地域の検討状況、制度への理解度を把握し、必要に応じて検討を促したり、意見交換を通じて今後の産地形成を一緒に考える



各協議会の検討状況・課題を共有するため、全協議会を集めた情報交換会の開催検討